

## R3 年度 幼保連携型認定こども園における自己点検・自己評価

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

〔記入方法〕

- ・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A：たいへんよい

B：よい

C：一部検討を要する項目

D：改善を要する

### ◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			・ 乳幼児の成長発達目標を10の姿を通して教育保育要領から見直しを行った。  ・ 0歳児から6歳児までの継続した育ちを丁寧に行う為に、経験年数を混合にしたグループ分けで勉強会を実施し、職員同士で共通理解を図った。
	(2) 目標は 各施設や地域の特色を生かしているか、		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				・ 個々の子どもの育ちを共有し、援助できる活動内容に取り組むために、保育者自身が日々振り返り、職員間で評価し合った。遊びや生活の中から、5領域のねらいが総合的に達成されるよう、おおむね0歳から6歳の育ちに合わせた領域別の計画を作成した。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			・ 感染症対策と同時に子どもの興味・意欲・達成感が満たされ、安全に行える方法を工夫した内容での行事に取り組んだ。  ・ 子ども自身が日々の保育の中で経験して成長につながったことを行事に取り入れるようにした。そのために日々の経験を豊かに、行事につなげていくような内容を話し合い、連続性のある取り組みを行った。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
経営 ・ 組 織	分掌・ 体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				・ 職務分担について話し合い、図式化することで全職員が把握しやすくなった。経験年数の違いによってグループ分けを行い、協働できる体制作りを見直した。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○				
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○				
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○					
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			・ 保育体制、労働時間などから十分に時間をとれないので、職員全員が会議の内容や意見等をメールで共有できるようにし、保育に反映できるようにした。	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○				
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○				
	年 齢 別・ク ラス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				・ 子どもの興味・関心・育ちをドキュメンテーションにまとめ職員・保護者で共有できるようにした。0歳児から就学までの成長を見直した10の姿を通した活動計画を達成できるように保育内容に取り組んできた。また指導計画や振り返り・反省・育ちや配慮面などについて、ソフトを活用して職員間で共有し、保育に活かせるようにした。	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○				
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○				
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○				
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○				
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○				
	保 健・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			・ 流行した感染症の時期や年齢、ヒヤリハットをグラフ化し、早期に予防できるように話し合った。保護者にも感染した時の報告と早めの受診依頼を行った。嘱託委との連携を図り、各年齢の保健・安全指導計画を立てて活動を行った。	
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○				
	研 究・ 研 修	所 内 研 究・ 研 修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○				・ 日々の保育写真を通して職員間で意見交換を行い、保育者自身の気づきを深めるようにした。また研修主題が保育目標につながるよう、月一回講師のもとで学び合いを行った。
			(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○			
(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。				○				
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。				○				
所 外 研 究 ・ 研 修		(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			・ 受講した研修の報告を回覧・メールで速やかに行い、職員全員が共有して学べるようにした。	
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				・個人情報既定の見直しを行い、園内研修を実施した。充実したヒヤリハット会議を月1回実施し、その中で個人情報の取り扱い方法や管理方法についての共通理解を図った。
	(2) 公文書收受 発送 処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・ヒヤリハット会議等で報告された内容を職員全員が熟知・理解していくように記録を簡素化した。データ化した情報を掲示したりしながら職員理解を行った。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				会計士の指導の下に処理している。
開かれた保育所づくり 施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				・教育・保育要領を学び合い、乳幼児期における発達援助を理解し実践できるようにしていきたい。 ・全体での勉強会や研修に十分な時間が取れないので個々に受講した内容も含め情報を伝え合い、日々の保育の向上に努めていきたい ・新型の感染症拡大により近隣の小学校との間で、交流を持つことが出来なかったが、就学予定児や支援児などの情報交換は密に行った。
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳) 幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
家庭と の地連携 携社会	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			・子どもが園内で日々経験し、成長していることをホームページや掲示板、スライド、動画配信等で伝え保護者に関心を深めていけるようにしていきたい
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3) (乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				<p>・できる限り地域の子育て家庭に施設を開放し、集団での成長の経験や虐待防止にもつなげていきたい。</p> <p>一部の保護者に参加してもらうのではなく、本当に助けを求めている親子に気軽に参加できるような体制もさらに必要である。</p>
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
情報の発信		(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			<p>・分かりやすく関心を持ってもらいやすい内容を取り入れるようにしている。園だよりや献立表などをホームページに掲載し、保護者がいつでも見られるようにした。</p>
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○				
外部評価		(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			<p>・目につきやすく、投函しやすい場所に意見箱の設置や行事の折にアンケートを取り、公開し、意見を反映していきたい。</p>
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			